

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	高齢者の自立支援，介護予防，重度化防止の推進及び介護給付の適正化
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援，介護予防，重度化防止 ☒ 介護給付適正化

現状と課題

当町では宅地造成及びマンションの建設により人口が微増するとともに，高齢化率も増加している。

その中で，特に後期高齢者人口が急激に増加する見込みである。

（後期高齢者率：11.1%（H30.3 末）⇒11.9%（H32））

このことにより，介護を受ける人の増加が見込まれ，高齢者の自立支援，介護予防，重度化防止対策が課題となっている。

第7期における具体的な取組

- ① 自立支援型ケアマネジメントの強化
- ② 住民主体の地域づくりの強化
- ③ 介護予防の仕組みづくりの強化
- ④ 介護給付の適正化

目標（事業内容、指標等）

- ・ いきいき百歳体操の開催個所数
（H29）15 個所⇒（H30）18 個所⇒（R1）21 個所⇒（R2）24 個所
- ・ 第1号被保険者の要支援1・2の認定率
（H29）4.3%⇒（H30）4.2%⇒（R1）4.2%⇒（R2）4.1%
- ・ 自立支援型ケア会議の開催数
（H29）12 回/年⇒（H30）12 回/年⇒（R1）12 回/年⇒（R2）12 回/年
- ・ ケアプラン点検事業所数
（H29）1 個所/年⇒（H30）1 個所/年⇒（R1）1 個所/年⇒（R2）1 個所/年

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ いきいき百歳体操
実施個所数が増加しているか。
 - ・ 第1号被保険者の要支援1・2の認定率
認定率が低下しているか。
 - ・ 自立支援型ケア会議の開催数
会議の開催数が年12回を継続できているか。
 - ・ ケアプラン点検事業所数
点検事業所数が年1箇所を継続できているか。

取組と目標に対する自己評価シート

年度	平成30年度
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援, 介護予防, 重度化防止 ☒ 介護給付適正化

前期（中間見直し）

実施内容
・いきいき百歳体操の実施 リハビリテーション専門職及び保健師により住民主体の通いの場の立ち上げを支援した。また、立ち上げ後も定期的（3か月後，1年後，3年後）に支援した。 （H30 新規実施場所：4 箇所（H30.9 末時点）） （H30 専門職派遣支援回数：14 回（H30.9 末時点）） ・自立支援型ケア会議の実施 自立支援に資するケアマネジメントを利用者に提供するため、多職種による自立支援型ケア会議を実施した。 （H30 検討ケース：8 ケース（H30.9 末時点））
自己評価結果【○】
・いきいき百歳体操の開催箇所数 （H29）15 箇所⇒（H30.9 末時点）19 箇所 ・第1号被保険者の要支援1・2の認定率 （H29）4.3%⇒（H30.9 末時点）4.2% ・自立支援型ケア会議の開催数 （H29）12 回/年⇒（H30.9 末時点）3 回 ※H30.7 豪雨災害等の影響により3回中止
課題と対応策
・いきいき百歳体操の実施 実施箇所の拡大により評価等の役割を担う地域のリハビリ人材の不足が発生する可能性があるため、将来的な展望についてリハビリ職と協議し、人材確保を図る。 また、住民主体の活動の場について相互の活動について交流が十分でないため、啓発や意見交換等を通じ、活動の場の「見える化」を図る。 ・自立支援型ケア会議の実施 現在、地域包括支援センターにのみ事例提供を依頼しているため、今後居宅介護支援事業所の介護支援専門員にも拡大し、自立支援型ケアマネジメントの規範的統合を図る。

後期（実績評価）

実施内容

- ・いきいき百歳体操の実施
リハビリテーション専門職及び保健師により住民主体の通いの場の立ち上げを支援した。また、立ち上げ後も定期的（3 か月後，1 年後，3 年後）に支援した。
（H30 新規実施場所：5 箇所（H31.3 末時点））
（H30 専門職派遣支援回数：25 回（H31.3 末時点））
- ・自立支援型ケア会議の実施
自立支援に資するケアマネジメントを利用者に提供するため、多職種による自立支援型ケア会議を実施した。
（H30 検討ケース：39 ケース（H31.3 末時点））
- ・ケアプラン点検の実施
介護給付の適正化を図るとともに、自立支援に向けたケアプランであるかを確認するため、ケアプラン点検を実施した。
（H30 実施箇所：1 箇所（H31.3 末時点））

自己評価結果【○】←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください)

- ・いきいき百歳体操の開催箇所数
（H29）15 箇所⇒（H31.3 末時点）20 箇所【目標：18 箇所】
- ・第1号被保険者の要支援1・2の認定率
（H29）4.3%⇒（H31.3 末時点）4.1%【目標：4.2%】
- ・自立支援型ケア会議の開催数
（H29）12 回/年⇒（H31.3 末時点）9 回/年 ※H30.7 豪雨災害等の影響により3回中止
【目標：12 回/年】
- ・ケアプラン点検事業所数
（H29）1 箇所/年⇒（H31.3 末時点）1 箇所/年【目標：1 箇所/年】

課題と対応策

- ・いきいき百歳体操の実施
実施箇所が順調に拡大していることから、評価等の役割を担う地域のリハビリ人材の不足が発生する可能性があるため、将来的な展望について引き続きリハビリ職と協議し、人材確保を図る。
- ・自立支援型ケア会議の実施
地域包括支援センターの事例に加え、平成30年12月から居宅介護支援事業所の事例検討を開始したが、自立支援型ケアマネジメントの規範的統合が十分に図れていないことから、会議を重ねていくことで規範的統合を図る。
- ・ケアプラン点検の実施
限られたマンパワーの中でケアプラン点検を実施する必要があるため、研修等に参加し、ケアプラン点検者の資質向上を図る。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」